

ADATARA LIVE DEMONSTRATION 2022



主催：ADATARA Live Demonstration

会期 2022年6月1日(水)・2日(木)・3日(金)

開催方法 Web 開催

大会長：山本 義人 (いわき市医療センター)

参加費：医師・企業 7,000円 コメディカル 1,000円
学生 無料 研修医 無料

※学生、研修医は証明書の添付が、視聴には事前登録が必要です。

事前登録受付期間：2022年5月1日～

※会期直前のお申し込みでは事務手続きの関係上、会期に間に合わなくなる可能性がありますのでご注意ください。

事前登録方法：ホームページからご登録ください。

<https://www.adatara-live.com/>

ADATARA Live Demonstration 2022 開催にあたって

ADATARA Live Demonstration 2022 の当番世話人としてご挨拶申し上げます。

本ライブコースは 1997 年から開始し、毎年開催してまいりましたが、昨年は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大により開催を 10 月に延期しオンライン開催といたしました。

これまで、われわれの ADATARA Live Demonstration は、PCI 治療の基本を大切にすることを旨とし、より安全で、より質の高い治療を目指す医師・コメディカルのレベルアップに役立つライブとなることを目標としてきました。

ADATARA LIVE Demonstration2022 はコロナ禍においてハイブリット開催をめざし準備を進めて参りました。オミクロン株の感染拡大も一応ピークを過ぎたようですが、感染者数は高止まりの様相です。また、昨年の感染状況を振り返りますと 3 月にいったん終息しましたが 4 月中旬より第 4 波の感染拡大が始まり 5 月には「緊急事態宣言」が発令され他県に跨がる移動の自粛要請がなされました。

今年開催するに当たっては会場で直接交流を深めリアルタイムで情報交換をしたいと考えておりましたがこのような状況下においてハイブリット開催で皆様に会場にご来場頂くことは感染拡大予防、参加者の健康・安全を守る観点からは見送らざるを得ないとの結論に達しました。

そのため、今年の ADATARA LIVE Demonstration は Web 開催とすることにいたしました。Web 開催ではございますが、ライブデモンストレーションは従来通り太田西ノ内病院およびいわき市医療センターから 2 日間中継いたします。

今回も、国内のトップレベルのエキスパートの先生方をお招きし、主に complex な症例に対する PCI や EVT の治療手技を、ライブ映像を通してディスカッションを行いながら深く掘り下げて進めていただき、県内外のご参加される先生方や各コメディカルの方にとってより教育的となり、さらには地域医療のレベルアップにつながるような内容の ADATARA ライブを企画いたします。

プログラムは従来と同様に、ライブ術者と座長、コメンテーターを中心とした症例検討会の他、冠動脈 CTO-PCI の教育ライブ、Peripheral の EVT、冠動脈 CTO、石灰化領域、分岐部領域の PCI、PCI のエキスパートによる教育プログラム、FPIC（Fukushima Peripheral Intervention Conference）、ADATARA イメージング、スレンダーセッションなども企画いたしました。

教育プログラムに関しては、福島県内の次世代を担う若手の先生たちにプログラム委員として参加していただき、PCI 初心者から中級者の実践に役立つ内容のテーマを考え、ライブと平行して行ってきましたが、若手の先生方には非常に好評であり、今回もさらに日常の臨床に役立つ内容を企画いたしました。

これまで、われわれの ADATARA Live Demonstration は、PCI 治療の基本を大切にすることを旨として、より安全で、より質の高い治療を目指す医師・コメディカルのレベルアップに役立つライブとなることを目標としてきました。次回ライブにおきましても同様に、実践的でより役に立つ内容を目指し、明日からの治療に繋げる事の出来るライブを目指したいと存じます。

Web 開催ではございますが多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

ADATARA LIVE Demonstration2022

当番世話人 山本 義人（いわき市医療センター）

Program at a glance

6月1日 ㊦ メグレスホール

8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
									ADATARA PPI & 第28回FPIC	症例検討会	

6月2日 ㊦

8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00		
中継施設	Live Demonstration : 太田総合病院附属太田西ノ内病院												
ライブサイト	モーニングセミナー1	石灰化 Course Live Demonstration 1 ML 1			石灰化 Course Live Demonstration 2 ML 2		Luncheon Seminar 1	分岐部-CTO Course Live Demonstration 3 ML 3		分岐部-CTO Course Live Demonstration 4 ML 4		CTO教室	症例検討会
セッションサイト	モーニングセミナー2	教育セッション1 CTO	教育セッション2 分岐部	教育セッション3 SFA	教育セッション4 EVT入門	教育セッション5 ACS	共催セッション1 症例徹底討論1-1	Luncheon Seminar 2	共催セッション2 症例徹底討論1-2	共催セッション3 症例徹底討論1-3	アフタヌーンセミナー1	Slender session	
コメディカルサイト	コメディカルセッション心カテ-PCI前に		コメディカルセッション心カテ-PCI 1				Luncheon Seminar 3 コメディカル	コメディカルセッション放射線セッション		コメディカル ML1 IABP	コメディカルセッション心カテ-PCI 2		コメディカル 合同セッション

6月3日 ㊦

8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00			
中継施設	Live Demonstration : いわき市医療センター													
ライブサイト	モーニングセミナー3	Peripheral-CTO Course Live Demonstration 5 ML 5			Peripheral-CTO Course Live Demonstration 6 ML 6		Luncheon Seminar 4	分岐部-CTO Course Live Demonstration 7 ML 7		分岐部-CTO Course Live Demonstration 8 ML 8				
セッションサイト	モーニングセミナー4	ADATARA Imaging		共催セッション1 症例徹底討論2-1	共催セッション2 症例徹底討論2-2	共催セッション3 症例徹底討論2-3	Luncheon Seminar 5	共催セッション4 症例徹底討論2-4	教育セッション6 石灰化	教育セッション7 TAVI	アフタヌーンセミナー2	教育セッション8 BAV	教育セッション9 マイクロカテ	教育セッション10 合併症
コメディカルサイト	コメディカルセッションカテ室看護		コメディカル ML2 FFR	コメディカルセッションEVTセッション		コメディカルセッションペースメーカー	Luncheon Seminar 6 コメディカル	コメディカルセッションリスク管理について		コメディカルセッションデバルキングデバイス		コメディカルセッション心カテ-PCI 3		コメディカルセッション 合併症

Program

6月1日水

第1会場

17:00~19:00 ADATARA PPI & 第28回FPIC

19:00~19:30 症例検討会

6月2日木

第1会場

9:00~10:20

Live Demonstration 1
石灰化コース

10:25~10:40

ミニレクチャー1

10:45~12:10

Live Demonstration 2
石灰化コース

12:10~12:25

ミニレクチャー2

12:30~13:30

ランチョンセミナー1

13:35~15:00

Live Demonstration 3
分岐部・CTOコース

15:00~15:15

ミニレクチャー3

15:20~16:45

Live Demonstration 4
分岐部・CTOコース

16:45~17:00

ミニレクチャー4

17:05~18:35

CTO教室

18:40~19:10

症例検討会

第2会場

9:20~9:45

教育セッション1
「CTOキホンのキ」

9:50~10:15

教育セッション2
「分岐部病変の治療戦略」

10:20~10:45

教育セッション3
「SFAに対するfinal deviceの選択の仕方」

10:50~11:15

教育セッション4
「EVTを始めましょう 入門編(illiacの基本)」

11:20~11:45

教育セッション5
「ACSのPCI 治療戦略」

11:50~12:25

特別企画「徹底討論 ~この症例どうする?~」Part1-1

12:30~13:30

ランチョンセミナー2

13:35~14:10

特別企画「徹底討論 ~この症例どうする?~」Part1-2

14:15~14:50

特別企画「徹底討論 ~この症例どうする?~」Part1-3

14:55~15:25

アフタヌーンセミナー1

15:30~17:00

Slender Session

第3会場 Co-medical

9:00~10:20

心カテ・PCI前に

10:25~12:25

心カテ・PCI 1

12:30~13:30

ランチョンセミナー3

13:35~15:15

放射線セッション

15:20~15:40

ミニレクチャー1

IABP

15:45~16:45

心カテ・PCI 2

16:50~18:00

合同セッション
「となりのカテ室を
のぞいてみよう」

6月3日金

第1会場

9:00~10:20

Live Demonstration 5
Peripheral・CTOコース

10:25~10:40

ミニレクチャー5

10:45~12:10

Live Demonstration 6
Peripheral・CTOコース

12:10~12:25

ミニレクチャー6

12:30~13:30

ランチョンセミナー4

13:35~15:00

Live Demonstration 7
分岐部・CTOコース

15:00~15:15

ミニレクチャー7

15:20~16:45

Live Demonstration 8
分岐部・CTOコース

16:45~17:00

ミニレクチャー8

第2会場

9:00~10:25

ADATARA Imaging

10:30~11:05

特別企画「徹底討論 ~この症例どうする?~」Part2-1

11:10~11:45

特別企画「徹底討論 ~この症例どうする?~」Part2-2

11:50~12:25

特別企画「徹底討論 ~この症例どうする?~」Part2-3

12:30~13:30

ランチョンセミナー5

13:35~14:10

特別企画「徹底討論 ~この症例どうする?~」Part2-4

14:15~14:40

教育セッション6
「石灰化病変のデバルキング」

14:45~15:10

教育セッション7
「TAVI後のPCI...どうしたらいいの?」

15:15~15:45

アフタヌーンセミナー2

15:50~16:15

教育セッション8
「TAVI 時代におけるBAVの可能性」

16:20~16:45

教育セッション9
「冠動脈用マイクロカテーテルの使い分け」

16:50~17:15

教育セッション10
「合併症「デバイス抜去困難、IVUS抜去困難など」

第3会場 Co-medical

9:00~10:00

カテ室看護

10:05~10:25

ミニレクチャー2

FFR

10:30~11:30

EVTセッション

11:35~12:05

ペースメーカー

12:10~13:10

ランチョンセミナー6

13:15~14:15

リスク管理について

14:20~15:40

デバルキングデバイス

15:45~16:45

心カテ・PCI 3

16:50~18:50

合併症

コメディカル演題募集

下記演題を募集いたします。

合併症に関連する事で、経験したこと、工夫、感じたことなど。(口演発表)なお、演題登録が多数の場合は、口演発表演題を選考させていただきます。

募集期間 ●2022年4月15日~2022年5月15日

申込み方法 ●筆頭演者(発表者)の氏名(ふりがな)・所属・住所・TEL/FAX番号・Eメールアドレス ●共著者の氏名・所属 ●演題名

●抄録本文(全角1,000文字以内)です。

図表や写真が使用できません。登録者側のコンピューター環境が原因で、演題登録に不備を来しても事務局では責任を負いかねますのでご了承ください。一度登録した後に抄録内容の修正を行う場合は、差し替えデータを演題送付アドレスにお送り下さい。発表時間はホームページに掲載、および筆頭演者にEメールにてご案内します。

※演題登録のメールをご送信後、1週間以内に受領確認の連絡通知が事務局より送られて来ない場合は、お手数ですがもう一度確認いただくか、運営事務局までお電話をください。

●登録者は参加費無料となります。 ●最優秀演題には報奨金を贈呈いたします。

【演題送付先Eメールアドレス】 adatarav@visitech.co.jp

【お問い合わせ先】 ADATARA LIVE 事務局 〒500-8262 岐阜県岐阜市茜部本郷1丁目46番地8

Tel:058-257-2727 Fax:050-3588-8936 e-mail:adatarav@visitech.co.jp

Education Session

①CTOキホンのキ

慢性完全閉塞病変に対するPCIは、様々なテクニック、デバイスを駆使して、成功に導く必要がありPCIオペレーターにとって、目指すべき最終目標と言っても良い技術であると思います。CTOに対するPCI技術・デバイスともかなり成熟してきており、治療成績もエキスパートの先生方が手技を行えば9割を超える成績となっています。

今回、ADATARA Liveの教育セッションでは、PCIを始めて数年の若手医師を対象としており、これからCTO-PCIへ挑む、あるいは数例経験したという先生方が多く聴講されることを期待しております。本セッションでは経験豊富なCTO-PCIオペレーターに「CTOのキホンのキ」と題しまして、PCI適応、CTO-PCIを行う際の画像の活用の仕方、CAGの読み方、CTO-PCIを行う際の前処置といった基本的なところから、antegrade/retrogradeといったアプローチの考え方をいくつか症例を踏まえながらご講演いただきます。

②分岐部病変の治療戦略

分岐部病変は日常臨床で経験することの多い病変形態ですが、治療方法の決定に迷うことも多いと思います。「側枝保護の適応は?方法は?」「KBT/POTの最適なやり方は?」「(1, 1, 1)(0, 1, 1)はやはり1ステントを目指すべき?」「2ステントの留置方法はどうか?」ほかにも様々な疑問が浮かびます。特に左主幹部病変へのPCIは、CABGIに匹敵する成績を得るために、最新の知見をもとに最適なPCIを行う必要があります。このセッションでは分岐部病変に対する考え方と治療戦略について、経験豊富な先生より、実践的な話をさせていただきます。

③SFAに対するfinal deviceの選択の仕方 ~こんな病変にはこのdeviceの成績がいい~ 症例ベースでの解説

近年、SFAに対するEVTデバイスの開発・改良により、初期および遠隔期成績が大きく改善してきています。懸念事項であった長期開存性はDES、DCB、VIABAHNの登場で改善傾向であり、石灰化病変に関してはSUPERA、アテレクトミーデバイスが期待されています。

final deviceの選択肢が広がった今日、選択方法に関しては迷いが出てしまう現状です。本セッションにおきましてはdeviceの特徴や病変に応じたdeviceの選択方法につきまして、professionalの先生の症例をベースとして御講演いただきたいと思います。

④EVTを始めましょう 入門編 (iliacの基本)

EVTは近年様々なデバイスの登場で脚光を浴びておりますが、反面なかなかEVTを始めることのできない先生もいらっしゃると思います。そこで、今回は腸骨動脈領域に対するEVTについて基礎的なお話をエキスパートの先生にお願いいたしました。腸骨動脈領域のEVTは治療成績が良く、またPCIオペレーターとしてはアクセスルート確保の観点からぜひ知っておきたい手技だと思います。是非ご参加いただき、EVTの第一歩を踏み出していただければと思います。

⑤ACSのPCI 治療戦略

PCIに慣れてきた頃の若手医師が任されることも多いACSのPCI。ワイヤーが偽腔に進んだり、slow flow/no reflowの発生や、ステント内に血栓が湧いてきたりといった特有のトラブルに対する注意や対処法の知識が必要となります。また完璧な仕上がりを目指すとかえって痛い目に遭うこともあり、エンドポイントの設定にも知識が必要です。本セッションでは経験豊富なエキスパートの先生にACSのPCIにおけるTIMI3を得る治療戦略について解説していただきます。

⑥石灰化病変のデバルキング ~どう削る?なにで削る?~

石灰化病変の治療はPCIにおける大いなるテーマの一つであります。2020年の施設基準改定に伴って新たにローターブレードおよびダイヤモンドバックを使用するようになった施設、術者は増加しているものと思われませんが、治療の幅が広がった一方で不慣れた治療に不安を抱える方も多いのではないのでしょうか。高度石灰化病変の効果的かつ安全なデバルキング方法、それぞれのデバイスの使い分けや組み合わせについてエキスパートの先生に存分に聞いてみましょう。

⑦TAVI後のPCI...どうしたらいいの?(仮称)

大動脈弁狭窄症に対するTAVIは今後増えていきます。私たちはTAVI後の方にPCIをしなければならない状況にいつか遭遇することでしょう。そのようなとき慌てず適切に対応できるように準備をしておかなければなりません。TAVIもPCIも経験豊富な先生に教えていただけます。皆さま、ぜひご参加ください。

⑧TAVI 時代におけるBAVの可能性

大動脈弁狭窄症に対する経カテーテルの大動脈弁置換術(TAVI)は、デバイスや治療技術の進歩、術前検査の考察をへて、現在は非常に良好な成績を示しており、適応拡大に至っています。数年のうちには年間施術件数も外科的大動脈弁置換術を越えるものと思われれます。

一方で、TAVIには認定施設基準が設定されており、どこの施設でもできる治療ではありません。また、TAVIですら高リスクの症例も一定数存在すると思われれます。

このセッションでは、TAVIが著しく進歩している現在においてBAVを再考察し、BAVの可能性、適応を学び、日常臨床に役立てることを目的としています。

⑨冠動脈用マイクロカテーテルの使い分け

PCIにおいてガイドワイヤーの選択やその操作法は最も重要な要素の一つですが、マイクロカテーテルも手技を円滑に進めるために不可欠であり、時に治療自体の成否に大きく関わるデバイスです。冠動脈用マイクロカテーテルはシングルルーメンとダブルルーメンに大別されますが、現在は多種多様な製品が選択可能になっています。そこで、各製品の長所と短所、使い分けなどを学ぶセッションを企画しました。各カテーテルの特徴や効果的な使用シーン、また、止血コイルとの適合性など実践的な内容を経験豊富な先生から解説していただきます。

⑩合併症「デバイス抜去困難、IVUS抜去困難など」

近年技術の向上やデバイスの進歩によりPCIの成功率は目覚ましく向上しております。その中でもある一定の割合で合併症は起こっており、特に複雑な病変に対する治療の際にはそのリスクは高まります。本セッションではそのひとつとして、IVUS等のデバイス抜去困難を取り上げます。様々なトラブルをどうbailoutするか、そもそもトラブルはなぜ生じ、どう未然に防ぐのか、エキスパートが解説します。